

ボランティアの皆さまと役員の方の 座談会

これまでの運動を振り返り、問いかけ語り合う座談会を開催しました



いま、歩くこの道は、将来に近未来に続いています。

その道を創るのは、あなたと私、私達です。

それは、日本最大の城郭都市東京です。

その実現に向け、次世代に継承する事が極めて肝要になっています。

「江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり」の運動に参加ませんか？

私達ひとり一人の誇り、シビックプライド（市民の誇り）と、なるでしょう。

財団設立3周年を記念し、皆さまに送る想いを

三つ葉のクローバーに託しました。

夢・希望 DREAM・HOPE 江戸城再生により近未来の世界遺産を目指します。

愛 LOVE 夢や希望を願う想いの下、愛は生まれます。

信頼 TRUST たった一人の力は小さくとも繋がりあうことを大切にします。

みなさま、是非、一緒に運動を進めましょう。

座談会メンバー7名（30代、40代、50代、60代、〇代・・・の、皆さま



理事長 小竹
（右上から）黒田さん、山崎さん、
村井さん、川野さん、岩田さん、内田さん

世界の人々と手をつなごう！2030 SDGs 持続可能な地球社会を目指す
近未来の世界遺産を目指す 世界の人々に提案しよう！

本丸御殿など江戸城全体整備構想の策定並びに 江戸東京歴史文化資源を活用した観光まちづくり

城郭都市東京 江戸城及びその城下町の 見える化に向けて

司会：小竹理事長は、2004年市民団体 江戸城
再建を目指す会(後のNPO法人)を創設されま
した。2017年財団を設立しVISION策定さ
れた頃、どのような想いだったのでしょうか？

首都として歴史的風格ある美しさの創出

小竹：私は世界の各都市を歩き、その歴史と伝統
文化に感動し魅了され、それらを保全するために
多くの人々のためめぬ努力に敬意の念を抱いて
参りました。世界の都市は歴史的文化的伝統での
厳しい都市間競争をし続けています。

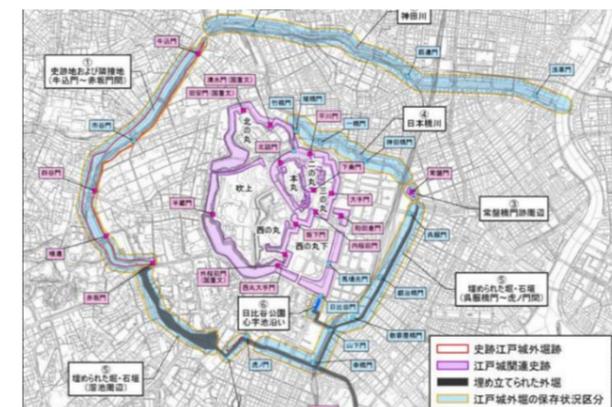
一方、江戸城跡は石垣とお濠に囲まれた美しい歴
史的景観に優れ、世界に比類無き歴史文化遺産の
宝庫であり、東京が誇るべき財産であると感じて
来ました。残念ながら城郭都市としての全体像は
見える化に至っておりません。

2017年江戸城等全体整備構想(江戸東京歴史文
化ルネッサンスビジョン計画)は旧江戸城及び
その城下町の城門や櫓、石垣やお濠等現存する歴
史的建造物の保全、本丸御殿等の失われた歴史遺
産の復元検討、その周辺の景観、自然保護、エリ
アマネジメント等の歴史まちづくり法による都
市計画全般に関わるビジョンです。

いつの日か、国内外の人々が東京を訪れる時、多
くの人々が感動されることでしょう。
私が世界の都市に魅了されたように、人類の宝と
して将来、未来の人々がその恩恵を受けられるよ
うに、私達は着実に次世代に継承していけば、必
ずや、日本最大の城郭都市の実現できるでしょう。
そのためには、いま、みな様のお力が必要なので
す。



(写真 皇居二重橋を撮影)



(機関誌第7号別冊より「江戸城の外堀跡及び関連史跡」)

黒田：陣内先生の講義を受け、江戸城は本丸、天
守、石垣、堀等の素晴らしさもさることながら、
平地ではない地形の構造を生かした巨大都市を
築き上げたこと、幕府、武家屋敷、町人町、寺社
地区、歓楽街が運河や橋でうまくリンクされてい
る交通インフラや、上下水道、ごみ処理リサイク
ル等の循環型社会の仕組みが文化的遺産である
ことを伝える価値があります。

司会：陣内先生は、多様な水資源と水辺は東京の
誇る財産であり、その再評価は自然と人間の共生
を目指す 21 世紀の世界の考え方にも大きな示
唆を与えるに違いないと仰っておられましたね。
秘められた水都としての可能性は、江戸城全体整
備構想に、より時空を超えた拡がりや深さを感じ
ます。江戸東京の価値をより、高めることになり
そうですね。

世界の人々と手をつなごう！2030
近未来の世界遺産を目指す

本丸御殿など江戸城全体整備構想の策定並びに

なぜ、学術研究が必要ですか？

小竹：特別史跡江戸城社は学術上の価値が極めて高いことです。石垣やお濠、公園や城門等に至る有形無形の国宝や重要文化財等があり、それらは、国有財産、行政財産、皇室財産もあり宮内庁、文化庁、環境省等、東京都、千代田区等の行政の管理が夫々複雑に関わっています。

考古学、文化財、建築史、歴史、観光、景観、世界遺産、都市計画等から専門分野を代表する第一線の研究者や関連組織による研究が必須となります。

また、私達にとって重要なことは、事業と運動の共創による一体的発展を目指す上での手掛かりとしても必要です。学術研究無しには、構想を策定することは無理といえるでしょう。



山崎：世界中を観光できるようになった現代では、日本だけではなく世界の人々に、将来、未来の人達にも説明が必要であると思います。広い専門分野からの学術調査を進めていくことが大変大事だと思います。例えば、将来、ビルに囲まれた「天守」という建物しか残らなかったとしたら、どう説明するのでしょうか？

川野：文化財の活用においても素晴らしく明るい過去をイメージしがちですが、暗い過去からも学び現代の問題の原点を再発見することも大事だと思います。江戸時代には都市開発により自然破壊を起こした時代だと云われ、また、身分制度が根幹にありますので様々な差別や問題をはらんだ社会であったと思います。

女性の差別問題は意識も変わり人材も出てきている今は過渡期の気もしますが、しかし、女性差別の本質は現在も変わっていないのではと思います。



司会：これまでの学校教育で、江戸から明治の時代認識はどのようなのでしょうか？

村井：明治維新による政府の欧化志向の中で、江戸の歴史認識が寧ろ抑制されてきた気配すら感じます。その為、こうしたつみ重ねが、江戸期の豊かな歴史的文化的価値に対する評価を与えて来たのではないのでしょうか？

司会：江戸と東京を繋ぐ見える化が必要ですね。

黒田：学術研究は必要です。短く言えばエビデンス（根拠）です。江戸文化の継承の意味や価値を正しく理解して広め、提言していくための拠り所であることが理由です。特に近未来、世界遺産を目指す我々は、歴史的文化的価値を、科学的に明らかにすることで、全人類に共通の言語でその価値を伝えられます。科学の広い領域からの根拠が必要であり、特に文化財保護はグローバルスタンダードになっています。

SDGs 持続可能な地球社会を目指す
世界の人々に提案しよう！

江戸東京歴史文化資源を活用した観光まちづくり

何故、SUSTAINABLE DEVELOPMENTですか？

司会：SDGsは、飢餓や貧困などをはじめとし、どれ一つとっても歴史的背景があり国連は世界の一人ひとりに呼びかけています。これら17の開発目標は当然、私達ひとり一人にも法人の全体構想やまちづくりを進める視点として必要です。

川野：主に開発目標5（ジェンダー平等の実現）12（作る責任、使う責任）、11（住み続けられるまちづくり）、17（パートナーシップ）が関係するかと思います。2019年京都宣言にもあるようにSDGsにより、文化と観光も現場でも変わりつつありますね。



（「SDGsポスター」）

黒田：パネルディスカッションでも、若い世代が今までの様な高度経済成長期のような考え方とは違うとのことでしたが？

山崎：確かに、環境破壊への問題意識やエコロジカルで歴史や文化に触れられる生活を好み、そのように生きたいという若い人達が増えています。

村井：ビルラッシュの一方で、特に歴史的な建造物を守り維持し継承していくこと、緩やかに変化し長生きする考えは非常にマッチすると思います。

何故、近未来の世界遺産ですか？

国際連合教育科学文化機関
UNESCO (United Nations Educational,
Scientific and Cultural Organization)

小竹：世界遺産登録申請は、極めて大変なことと認識しております。到底、一朝一夕に申請できるものではありません。しかし、誰かが言いたすことと次世代に継承し、繋げていくことが大切です。その継承のプロセスが重要です。

江戸城跡は城郭も壮大で四季折々の美しさや石垣やお濠も素晴らしい。世界に比類なき歴史と文化をもち、世界遺産に匹敵すると言われてきました。高度化された都心の開発でこれらの遺産を守りきれぬのか、危機感もあります。

江戸城全体整備構想策定もまちづくりも世界的な評価に資する相応しいものを構想段階から求めていく必要があり先ずは全体像の見える化が必要なのです。



（ユネスコの諮問機関であり、世界遺産登録の審査、モニタリングの活動等を行っている国際NGO「日本イコモス国内委員会」のマーク）

司会：現在、世界遺産は1000件を超えています。数が多くなり、2020年からは、各国1件のみの申請となり狭き門のようです。登録申請する県は、今後は審査機関などあるイコモスの協力を得ながら準備を確実にしていくことが不可欠になってくると思われます。

世界遺産の経済波及効果は持続的で大きいですから。京都、大阪、奈良の関西圏は上手く活用していますね。東京都の世界自然遺産は、遠く離れた小笠原諸島だけですから。

世界の人々と手をつなごう！2030
近未来の世界遺産を目指す

本丸御殿など江戸城全体整備構想の策定並びに

特別史跡における歴史的建造物群
復元構想イメージ

司会：昨年 12 月「右下欄の基本方針」を理事会
で決定しました。

一方、本丸御殿の復元等の江戸城全体整備構想に
ついては、皆さからも要望が多くイベントの開催
やイメージづくり等で、自由、闊達に議論を進め
たいと思います。

先ず、HP「特別史跡における歴史建造物の復元
のあり方について」理事長の特別メッセージがあ
ります(<https://zaidan-edomo.or.jp/>)。先ずは、
ご参照ください。この一線からオーバーワークに
ならないように議論を進めさせて戴きたいと思
います。

村井：本丸御殿の復元検討等の江戸城全体整備構
想策定とは、何を整備するのでしょうか

小竹：整備とは、修復、復元、新築、保全などの
維持管理を含めた広い概念と云われています。
江戸城史跡内の個々の遺構や歴史的建造物群の
状況、周辺地域の景観や自然保護、環境、また、
歴史文化に携わる人々の営みを含めた都市計画
を視野に入れた整備構想の策定になるかと思
います。即ち、歴史まちづくりです。

今回の調査では現存する文化財は、江戸城跡の他、
国の史跡である江戸城外堀跡、常盤橋門跡、国の
重要文化財として外桜田門・清水門・田安門等が
600余程あります。失われた城門、櫓、天守、
石垣や濠、本丸御殿などの多数の痕跡は家康の時
代からいたるところで見られます。しかし、問題
はあまり知られていないことですね。

これらの建造物も含めて、保全や復元の検討に当
たり、江戸城跡の歴史的、文化的価値を明らかに

し、何が重要で必要か。
例えば、本丸御殿は、江戸幕府の政治の中核であ
り、また、将軍の住まいでありました。
江戸城再生にとっての意義や重要度、必要性が、
審議の俎上に上がると思われます。
全体構想の中でも、この周辺を主たる領域として
考えられるのではないのでしょうか。



(当会『事業概要書』より)

基本方針 (2021年12月)

「世界的なコロナ・パンデミック等による社会
経済の厳しい状況下において、「本丸御殿の復元
検討等、江戸城等全体整備構想(以下、構想とい
う)」の策定は、一旦留保するものの、それらの
目指す方針は堅持し、人・モノ・資金など 相
応の体制が整い次第、策定活動を再開することと
致します。」

一方、構想策定の表裏一体となる江戸東京の歴史
文化観光まちづくりは進め、東京のまちづくりの
振興に寄与して参ります。

SDGs 持続可能な地球社会を目指す
世界の人々に提案しよう！

江戸東京歴史文化資源を活用した観光まちづくり

政庁、将軍のすまい、江戸の文化
本丸御殿復元構想の活用イメージ

別紙資料の「ご存じですか?①江戸城本丸御殿
②東御苑天守台座(石垣)」をご参照下さい。

司会：復元図は、1860年(万延元年)新築され
た「万延度本丸御殿」について、甲良家文書で
は「万延度の江戸城本丸御殿」の作事に関わる資
料で現在まで残っている江戸時代の大工文書
の中の白眉といえるものがあります。

江戸城の第一人者である平井聖東京工業大学名
誉教授が、それに基づき6年の歳月をかけて研
究開発したプロジェクトの有り様やCGはNH
Kで放映され、その中で平井聖先生は「直ぐに復
元できます。」と明言されています。

山崎：復元と「活用」について伺いたいのですが?

小竹：復元は保存を第一義とすると考えます。
活用領域も研究者のご審議を期待しております
が、想像するには、玄間、大広間、松の廊下、白
書院、黒書院、能舞台、大名登城路、石垣、土壁、
城門(見附)等のいずれかが、俎上に上がるの
ではないでしょうか?

天守とは異なり、石垣も
無く、土地はフラット、
建物の高さもなく、相当
広いスペースですから、
活用の範囲は大きいと言
えるかもしれません。今
後、会員や市民の皆さま
の議論の場を検討してい
きたいと考えています。



(広重「名所江戸百景 上野清水堂不忍ノ池」(国立国会図書館所蔵))

川野：活用は大変に魅力があります、二条城のよ
うに新能、現代音楽と伝統芸能のコラボもおも
しろそうですね。世界の人々との文化交流するこ
とをイメージするとわくわくします。



(北斎「富嶽三十六景 江戸日本橋」(国立国会図書館所蔵))

黒田：江戸城総構えという視点から見ると関東平
野の一角と周りの山々、特に富士山との一体感が、
借景という日本独特の文
化と繋がっていて、江戸
時代の人々が朝に夕に、
江戸城天守閣、富士山を
みることで、自然(神さ
ま)との一体感を醸し出
す装置としての江戸城総
構えの構造があったのだ
と思います。



(広重「富士三十六景 東都飛鳥山」(国立国会図書館))

村井：当時の大都市ロンドン、パリと比較しても
明らかに違うのは自然と一体化した都市構造の
仕組みが、人々の文化的水準の高さに繋がった
のでは無いでしょうか。文化財の本質が国内外に
再検証されそうな段階、即ち、江戸城総構えの完
成後の世界遺産登録申請後に、改めて、江戸城
天守建築の研究をできればと、思うのですが、
如何でしょうか?

世界の人々と手をつなごう！2030
近未来の世界遺産を目指す

本丸御殿など江戸城全体整備構想の策定並びに

歴史文化資源を活かした観光まちづくり プラットフォームの設立に向けて

司会：プラットフォームの背景は、歴史や文化の基本構想や歴史まちづくり法なのです。

歴史上価値の高い建造物等の文化財や祭り、年中行事、周辺の市街地の景観、自然保護等、歴史と伝統文化を反映した人々の生活の営みや活動も重要な課題として位置付けられています。地域の歴史的風景が、より洗練されていけば付加価値も高くなり経済効果も期待できることになるでしょう。

機関誌第4号「歴史まちづくり法」の参画を視野に入れて」参照。



(皇居 富士見櫓)

山崎：歴史文化まちづくりは、全体整備構想の策定活動と表裏一体となる活動として、位置付けていますが？

司会：全体整備構想をハードとしたら、歴史まちづくりは、ソフトとして位置付けています。ハード・ソフトの両面が活かしあい一体となることにより、歴史文化まちづくりが生み出す、豊かな世界に広がり繋がって行くのではないかと考えて、期待出来ると思います。

岩田：プラットフォームの基本構成は、江戸東京の歴史文化資源です。もう一つはそれらを守り活用する等の活動の主体です。従って、江戸東京の歴史文化を活かした観光まちづくりの振興に寄与したいと考えております。

岩田：今回の調査で600件以上の有形・無形の文化財等が収集されています。現在、新ホームページを作成中ですが、そこに公開することからスタートする予定です。

GISなどによる空間情報等デジタルの活用は、技術的なことよりも、十分な体制整備の検討が必要だと思います。

村井：プラットフォームは先ずは歴史文化資源のデータのリストアップが先決で良いと思います。

プラットフォームの
レイヤー

歴史文化遺産やまちづくりをHPなど
多様な媒体での情報発信を検討

江戸東京に残る歴史文化遺産の情報地図等を広く一般社会に公開して参ります。先ずは、今回調査した600の歴史文化遺産をデジタル上に地点表示し、さらに「江戸復原図」や現代図をデジタル化して観光などに活用できるように、これを契機に中期的事業として、順次、取り組みを漸進していきます。

*「歴史文化遺産」の当会の定義は、日本の文化財（有形・無形）をはじめ未指定の文化財及び地域固有の地域遺産など多様な歴史と文化を発見し、総合的に位置付け、まちづくりに活かす「遺産」を「遺産」として取組み、地域に、次世代に継承して近未来に託す遺産のこととします。

SDGs 持続可能な地球社会を目指す
世界の人々に提案しよう！

江戸東京歴史文化資源を活用した観光まちづくり

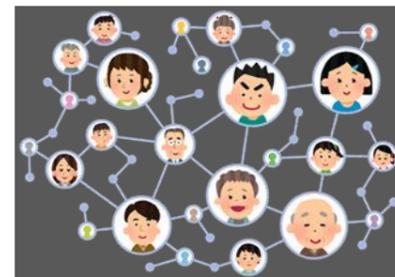
歴史文化資源を活かした観光まちづくり 歴史まちづくり&プラットフォーム 多様な人々 変わりゆく、交流・連携のあり方 リアルとデジタル

岩田：江戸城趾周辺では、江戸の地形を生かした遺構の保存、外濠の再生、神田川等の川下り、江戸の歴史・文化を学び楽しむサークルや文化財巡り、伝統文化や工芸で生活を営む専門家や主体など長年に多彩な活動が展開されています。地域の住民や大学、企業市民、自治体などにより産学官民の多様な連携による活動も進められています。



司会：コロナ禍により、生活も働き方も観光も変わる環境の下、これまで、都心や東京に集い、働き、生き、学ぶ方々以外にも東京を離れても遠くから老若男女問わず、夫々に合った方法でご参加戴くことも可能になります。従って、多様な人々による意見交換も活発になると思います。ジェンダー問題の動きやダイバーシティ宣言もあちこちで見られてきています。

川野：江戸東京の歴史文化資源を生かした観光まちづくりの中心を担う人は「地域」を良く知る方々が基本ではないでしょうか？



(デジタルネットワークのイメージ)

司会：大事な質問ですね。パネルディスカッションでも、ご提案を頂いたように地域以外の人達は地域の人しか知らない生活や歴史文化の活動を学びつつ地域の人に教えて戴くことになると思います。逆に、東京の各地域の個別の活動だと出来ないこととか、共通で困っていることとか、地域の動きを支援するとか、それらの想いを導き出してテーブルに上げていくような人や役割もまちづくりには大切な役割ではないかと思えます。今はガラス張りの時代です。権力のトップダウンの時代でもないですね。市民の力を基本とし、産学官民の交流や連携が重要です。



従って、ラウンドテーブルのような民主的な運営が必要条件となると思えます。それぞれの想いをベースに話し合っていくことだと思えます。



(東京の町並み)

リアルな交流は大事ですが、リモートやテレワーク等デジタルの活用により、従来とは異なる多様さを認め合い、楽しく活動できるスタイルを一緒に模索していきたいですね。多くの方々にご参加して戴ければ幸いです。一人でも多くの方にお会いできることを楽しみにしています。



(おわり)